



# あなたの施設も目指しませんか? アクティビティ・ケア宣言施設



## アクティビティ・ケア宣言施設とは

アクティビティ ディレクター資格認定セミナー開講から17年が経ち、現在900名近い資格認定者が全国の高齢者施設や地域などで、多方面にわたり活動しています。

この「アクティビティ・ケア宣言施設」制度は、アクティビティ ディレクターが活躍し、芸術や遊び、生活文化などの活動を通じて高齢者の心に栄養を与えるとともに、生活を活性化させ、その人らしい生き方を支えるケアを推進している施設を認定することで、アクティビティ・ケアの重要性とアクティビティ ディレクターの必要性を社会に提案することを目的としています。

アクティビティ ディレクターが輝き、アクティビティ・ケアのさらなる充実を目指す施設はぜひご応募ください。

## アクティビティ・ケア宣言5か条

1. 一人ひとりが安心して過ごせるよう、それぞれの人生歴、生活文化を大切にケアを行います
2. 芸術文化・遊び文化を積極的に取り入れ、ご利用者の心を豊かにするアクティビティの充実を図ります
3. 地域との連携を深める活動や、ご家族の理解を深めるための活動を行います
4. 心の栄養士「アクティビティ ディレクター」が活躍しやすい環境を整えます
5. 多職種が連携して、よりよいアクティビティ・ケアの向上を目指します

## 第6期エントリー概要

【応募資格】 以下の項目全てに該当する場合にエントリーができます

- 芸術と遊び創造協会会員であるアクティビティ ディレクター資格取得者が2名以上勤務している
- 施設代表者がアクティビティ・ケアを理解し、推進したいと考えており、申請についての同意が得られている
- 認定後、アクティビティ・ケアの実践および、高齢者アクティビティ開発センターに積極的に関わる意思がある
- エントリーシートで活動を自己評価し、各領域の合計点数が10点以上であり、さらに総計が70点を超える（裏面参照）
- 高齢者・障がい者に関わる通所・入所施設で、開設から2年以上が経過している

【アクティビティ・ケア宣言施設のメリット】

- アクティビティ・ケア宣言施設認定証の授与
- 当センター主催セミナーや、パンフレット、ホームページ、Facebookなどで施設や活動などを紹介
- アクティビティ・ケアに関する有益な情報を優先的に提供
- 名刺やホームページ等にアクティビティ・ケア宣言のロゴマークを入れられる
- 相互の情報交換の場として、全国大会において宣言施設ミーティングを開催
- 新認定施設の代表者の方はアクティビティ・ケア全国大会に無料ご招待

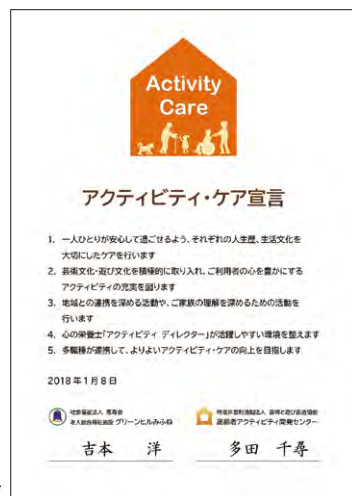
【認定料】 初年度 20,000円 / 2年目以降 10,000円

【エントリー締切】 2023年1月10日（火） 必着

※運営法人ごとではなく、施設ごとの認定となります。

※認定は1年更新で、次年度末に更新のための書類の提出が必要です。

すでに認定されている施設の更新については別途ご連絡します。



認定証イメージ



特定非営利活動法人  
芸術と遊び創造協会

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 NPO法人 芸術と遊び創造協会 中野オフィス（木・日曜日、祝日以外の10:00～17:30）  
TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699 URL <http://www.aptycare.com/> E-mail [aptc@aptycare.com](mailto:aptc@aptycare.com)

高齢者アクティビティ開発センター

# エントリーから認定までの流れ

## 1 エントリーシートを提出

エントリーシートを当センターWEBからダウンロードして記入した後、施設の概要や活動の様子がわかる資料とともに郵送してください。

## 2 審査結果を通知

審査の後、結果を1月17日（火）までにご連絡します。

## 3 認定式

2023年1月21日(土)に行われる「第13回 アクティビティ・ケア全国大会」にてオンライン認定式を行います。

## エントリーシート自己評価項目

過去1年間の活動を振り返り、各項目に該当しているかを自己評価し、点数を合計してください。

併せて(1)～(4)の領域ごとに、具体的な活動内容を200～300文字で記入してください。

各領域の合計点数が10点以上であり、さらに総計が70点を超えることがエントリーの条件となります。

### (1) 専門スタッフの確保・養成

アクティビティ・ケアを推進するスタッフの養成や、アクティビティ・ケアを他スタッフに周知するために行っている活動

- |   |    |
|---|----|
| 1 芸術と遊び創造協会会員であるアクティビティディレクター資格取得者が2名以上勤務し、アクティビティ・ケアの充実を目指している         | 4点 |
| 2 施設代表者がアクティビティ・ケアを理解し、推進したいと考えている                                      | 4点 |
| 3 勤務するアクティビティディレクターがアクティビティ・ケア実践フォーラム全国大会や、ブロック大会などに年に1回以上参加して継続的に学んでいる | 4点 |
| 4 施設内にアクティビティ・ケアについて検討する担当者もしくは部署がある                                    | 4点 |
| 5 スタッフがアクティビティインストラクター、アクティビティディレクターを受講する際の支援がある                        | 3点 |
| 6 スタッフが学会や研修会などに参加して自己研鑽する際の支援がある                                       | 3点 |
| 7 アクティビティ・ケアについて、施設内での研修や情報交換を定期的に行っている                                 | 3点 |

### (2) 組織マネジメント

アクティビティ・ケアを多職種で協力しながら、計画的かつ継続的にを行い、充実させるための活動

- |  |    |
|--|----|
| 8 利用者一人ひとりの好きな活動や趣味、得意な活動、生活歴、職業歴、家族関係などをヒアリングして記録し、スタッフ間で共有している | 4点 |
| 9 多職種でのアクティビティプログラム会議が定期的に行われている                                 | 4点 |
| 10 アクティビティについてスタッフから積極的にアイデアを出せる仕組みがある                           | 4点 |
| 11 アクティビティの効果測定や、参加した際の様子を記録している                                 | 4点 |
| 12 アクティビティカレンダーを毎月作成し、周知している                                     | 3点 |
| 13 アクティビティに関する予算が確保されている   | 3点 |
| 14 アクティビティの有償外部講師もしくは有償ボランティアが定期的に訪れる仕組みがある                      | 3点 |

### (3) 地域・家族との連携

地域との連携を深めるための活動や、ご家族の理解を深めるための活動

- |  |    |
|--|----|
| 15 近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と世代間交流をしている                | 4点 |
| 16 介護予防事業や認知症カフェなどの地域に向けた活動をしている                   | 4点 |
| 17 地域の人たちが立ち寄れるカフェがあるなど、地域に開かれた施設である               | 3点 |
| 18 地域のお祭りへの参画、町会や消防団への参加など、施設を代表して地域に出て活動するスタッフがいる | 3点 |
| 19 アクティビティの様子をご家族などに伝えている                          | 3点 |
| 20 家族会を定期的実施するなどし、ご家族の意見を尊重している                    | 3点 |

### (4) アクティビティ・コンテンツの充実

対象者に合わせた活動の提供や、さまざまな分野のアクティビティの充実を図っている

- |   |    |
|---|----|
| 21 利用者一人ひとりの好みに合った活動を提供できる仕組みがある                  | 3点 |
| 22 集団活動の際にも、利用者一人ひとりが出来ることに合わせた内容や作業の分担を心がけている    | 3点 |
| 23 認知症の方への個別のアクティビティ・ケアの提供が行われている                 | 3点 |
| 24 寝たきりの方への個別のアクティビティ・ケアの提供が行われている                | 3点 |
| 25 利用者のQOL向上、生きがいづくりに役立つ施設オリジナルのアクティビティ・コンテンツがある  | 3点 |
| 26 衣…おしゃれや美容など、利用者がいきいき過ごすためのアクティビティ・コンテンツがある     | 3点 |
| 27 食…選べるメニュー、好きな食器を使うなど、食文化を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある | 3点 |
| 28 住…内装木質化、入居者の自治会など、住環境を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある    | 3点 |
| 29 遊…芸術文化・遊び文化など、利用者の心を豊かにするアクティビティ・コンテンツがある      | 3点 |
| 30 仕事…意図的な出演作り、社会参加など、役割作りにつながるアクティビティ・コンテンツがある   | 3点 |



# 全国に広がるアクティビティ・ケア宣言施設 & おもちゃ美術館 (2022年4月現在) 施設形態はさまざまですが、アクティビティ ディレクターが創意工夫し、特徴的な「アクティビティ・ケア」を行っています。

## 新潟県三条市 通所リハビリテーション かわせみと樫の森

20年以上前から独自の計画・評価法に基づき、全ての介護スタッフが自らのアクティビティプログラムを提供できるように養成しています。

当法人では平成8年から通所施設「樫の森」を始め、認知症ケアの実践を積み重ねてきました。私たちにとってアクティビティ・ケアに携わる活動は学びの場でもあり、発信の場でもありました。今後も宣言施設として、スタッフがやりがいを持って働ける職場であり続けることと、他機関と協同し認知症ケアの向上に貢献していきたいと考えています。

医療法人社団 川瀬神経内科クリニック 通所リハビリテーション かわせみと樫の森  
事務長 作業療法士 川瀬敦士



## 北海道釧路市 介護老人保健施設 老健たいよう

アクティビティ ディレクター4名と、インストラクター資格を持つ各部署の代表がメンバーとなり「アクティビティ・ケア推進委員会」を立ち上げました。法人理念でもある『「生きる」を創る』を念頭におき、お客様が日常生活をより生き生きとしたものになる為にはどのようなアクティビティを取り入れたら良いか、試行錯誤しながら委員会を中心に多職種で話し合っています。

まだ手探り状態ですが、お客様も職員も共に「わくわく・ドキドキ」と心の栄養補給が出来るよう、施設としてアクティビティ・ケアの向上を目指していきます。  
社会福祉法人 釧路創生会 介護老人保健施設 老健たいよう (以下全員アクティビティ ディレクター)  
リハビリ係長 作業療法士 宮下綾子 / 栄養係長 管理栄養士 田中真知子  
デイケア主任 介護福祉士 高橋ちはる / 作業療法士 平間真弓



## 老健たいよう

## 茨城県古河市 デイサービス 福寿苑

当施設では、スタッフ全員が目くぼり、気くぼり、思いやりを心がけ、日常生活に役立つ機能訓練や季節の行事に力を入れてきました。

そんな私たちが、常に大切にしていることは、利用者さんの満福・笑福・幸福の「3福」です。これは、生きるためにおいしく食べる「満福」、アクティビティを楽しみ笑顔になる「笑福」、この2つで、心も身体も幸せいっぱいになる「幸福」ということです。

今後も、アクティビティ・ケア宣言施設として利用者さんの「3福」をさらに充実させ、活気あふれる施設を目指していきたいと思ひます。

特定非営利活動法人 ひだまり 理事長  
アクティビティディレクター 四本まゆみ



## 長崎県南島原市 地域密着型特別養護老人ホーム アメニティいわど

入居者の生活歴や趣味を活かしたアクティビティを実施しています。おもちゃ図書館とトレーニング室を地域の方へ開放しており、利用者が年間1800人を超えます。

宣言施設となり、認定証を玄関に設置し、ご家族や施設見学者に説明することで、職員のアクティビティ・ケアに対する意識も変わりました。一人ひとりが、「心が動けば身体が動く」「一人ひとりに寄り添うケア」「その人らしさを意識したケア」にするにはどうしたら良いかを考え・実行するようになったと思ひます。

社会福祉法人 白寿会 地域密着型特別養護老人ホーム アメニティいわど  
施設長 アクティビティディレクター 久間雅文



## 熊本県御船町 老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね

アクティビティ・ケア開発推進室を設置し、次世代アクティビティを開発。異業種と高齢者福祉の連携を常に模索しています。

認定を受けたことで、名前だけと言われなくなると、アクティビティ ディレクターたちが率先してアクティビティ・ケアの浸透に邁進してくれており、トップダウンからボトムアップに変化しました。これから職員のアクションでどうグリーンヒルみふねが変わっていくのか温かく見守ると共に、アクティビティ・ケアが一つの文化として全職員、地域に根付いていくことを目指しています。

社会福祉法人 恵寿会 老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね  
施設長 アクティビティディレクター 吉本洋



## 熊本県益城町 認知症高齢者グループホーム グリーンヒルましき

生活時間帯をご本人の希望に合わせて個別ケアを基本としています。赤ちゃん木育カフェ・マシムルクを併設し、世代間交流を開催するなど、地域に向けた活動もしています。

アクティビティ・ケアを通じて高齢者福祉に関わる全ての人が高齢者一人ひとりのその人らしさを受け入れ、ありのままの生き方の支えとなるよう働きかけていきたいです。

社会福祉法人 恵寿会 認知症高齢者グループホーム グリーンヒルましき  
ホーム長 アクティビティディレクター 野田拓司



## 長崎県南島原市 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘荘

昭和50年に開設した当施設は、令和3年に南有馬の小学校校庭の跡地にユニットケア施設を新設し、移転しました。新しい施設には世代間交流を図るためにキッズルームを作り良いおもちゃを沢山用意しました。高齢者にとってもアクティビティ・トイは密にならないで一人で遊ぶことができる優れたものです。「心が動けば身体も動く」をスローガンにアクティビティ・ケアを展開しております。

社会福祉法人 白寿会 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘荘  
施設長 アクティビティディレクター 林田真理子



## おもちゃ美術館

当協会では、赤ちゃんからお年寄りまでの多世代が豊かな出会いと楽しみを体感できるミュージアム「東京おもちゃ美術館」を運営するとともに、全国の地域団体と協力し、地域の自然や文化を伝える姉妹おもちゃ美術館の設立に取り組んでいます。



## アクティビティ・ケア宣言ロゴマーク

ご利用者とスタッフだけではなく、施設が地域に開かれ、子どもからお年寄りまでの多世代、さらに動物まで、そこにいるみんながイキイキと活動し、コミュニケーションを楽しんでいる様子を表現しました。



## 香川県高松市 デイサービスセンター 泰寿

アクティビティ・ケアの資格を全スタッフが取得し、各自が目的を考え利用者一人ひとりと向き合っているため、最終的にみんなで楽しめる賑やかな事業所ができています。

デイサービスでの活動の全てが心身の低下を防ぐためのリハビリと考え、生活情報をもとに、アクティビティを行っています。

スタッフの特技やキャラクターを活かしながら「楽しくケアを受けられる」「楽しみながらケアできる」施設を目指しています。

特定非営利活動法人 泰寿 デイサービスセンター 泰寿  
施設長 アクティビティディレクター 宮地和広



## 神奈川県平塚市 デイサービスセンター グッディ

手作り工作、パステルアート、クレヨン画、水彩画、おやつ作り、畑仕事、美容など様々なアクティビティプログラムを実施しています。

アクティビティ・ケア宣言施設になったことで「アクティビティって何ですか?」と興味を持ってたずねて下さる方が増えました。「どんなことをしてくれるの?」と興味と期待を持って見学される方も増えています。

これからも大人が利用して楽しい施設でありたいと思っています。高齢者は学ぶことが好きで若い人が苦手な事を沢山できるのです。そんなことを伝えられる施設になりたいです。

株式会社 グッディ デイサービスセンター グッディ  
施設長 アクティビティディレクター 合津智美



## 茨城県水戸市 デイサービスセンター お多福

認知症の方のご利用が多いので、住み慣れた環境で生活を継続する支援を充実させています。

宣言施設になり、アクティビティ ディレクターを取得したスタッフはそれぞれの意識が高まり、対象者はもちろん、スタッフや環境への配慮など、運営全体をプロの目線で見ようになりました。それに伴いインストラクターも積極的にアクティビティを企画し、切磋琢磨する姿が日常的になりました。現在、ディレクター取得者の在籍が国内で一番多い施設となっていることから、外部の方から見学や実習を希望されることも増え、スタッフも沢山の刺激を頂いています。

特定非営利活動法人 認知症ケア研究所 デイサービスセンター お多福  
統括管理者 看護師 アクティビティディレクター 高橋克佳

